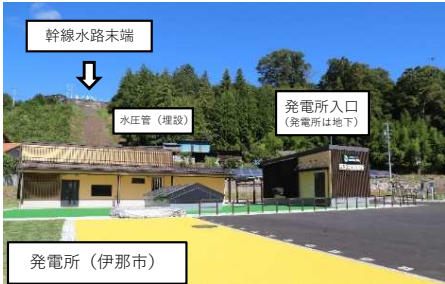


～地域に開かれた発電所へ 西天竜発電所がリニューアル～

西天竜発電所(伊那市)とは

岡谷市にある天竜川の頭首工から取水し、辰野町・箕輪町・南箕輪村・伊那市の4市町村のかんがい
に利用される西天竜幹線水路が、末端で伊那市小沢川に流れ込む際の落差を活用する発電所



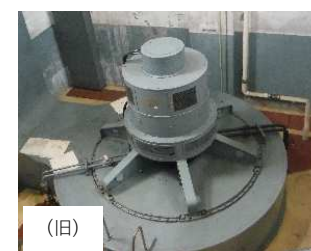
改修の概要

- ・昭和36年運転開始から50年以上経過。老朽化対策と新基準に適合する耐震化を実施し、令和4年2月に運転再開
- ・発電機を小型化し、1台から2台に増設したことで、これまで発電利用できなかったかんがい期(4～9月)の少ない水量でも発電可能に
- ・年間発電量は改修前と比較して6,600千kWh(約1,800世帯分)増加
11,500千kWh(約3,200世帯分) → 18,100千kWh(約5,000世帯分)

《工事の様子》



《新旧発電機》



地域に開かれた発電所を目指して

改修に合わせて発電所を地下式としたことで生まれた敷地を、伊那市とも連携し地域に開かれた広場として活用（令和5年10月しゅん工）

<地域に開かれた施設・学習の場として…>

- ・地域の学びや交流の場として交流センターを開放、子どもたちが遊べる芝生広場を整備
- ・水車・発電設備の展示やディスプレイによる発電所の解説・伊那市インフォメーション等の発信
- ・広場の維持管理を伊那市と協働で実施するとともに、名称を地元小学生から公募し『西天でんでん広場』と命名



命名者(伊那西小6年生)
もテープカットに参加

<災害時の防災拠点として…>

- ・周辺が停電となった場合でも自立運転機能によりEV充電器など電源供給が可能
- ・災害時には交流センターを避難施設として、芝生エリアは避難生活エリアとして活用

